

◎ **すべての東高生に重要な情報**

# 大学入試のしくみを学ぼう

## — 制度を正しく理解し 長期計画で準備をしよう —

志望校に合格するためには、教科の勉強だけでなく、「大学入試のしくみ」など、進路に関する正しい知識を持っていることもかなり重要です。長期計画で準備していくことが大事なのです。

### 特集1 大学入試に関するQ&A① 共通テスト・国公立大編

#### Q:「共通テスト」とはどのような試験ですか？

#### ■ 「共通テスト」はすべての受験生に重要な試験である

##### 国公立大は必須！私立大も多くが『共通テスト利用方式』を採用

大学入学共通テスト（以下「共通テスト」）は、昨年度までのセンター試験に替わって今年度より実施されます。2日間の日程で全国一斉に行われ、50万人以上が受験する大規模な試験です。

国公立大入試の一次試験であり、各大学によって定められた科目の試験をすべて受験しなければいけません。さらに、私立大の多くが、独自の入学試験に加えて共通テストの得点を合否判定に利用する「共通テスト利用方式」を採用します。それゆえ、**共通テストは、すべての受験生にとって大事な試験です。**本校でも、これまでのセンター試験では、毎年85%以上の人を受験していて、今年度も236名が出願を予定しています（10/2（金）一括出願）。

#### ■ マークシート方式の試験 「読解力・思考力」が試される

すべて「マークシート方式」の選択式です。教科書に沿った基本的な内容ではありますが、決して簡単ではなく、**知識の丸暗記では対応ができません。**これまでのセンター試験以上に、**文章やデータの読解力や思考力、判断力が重視されます。**また、問題量も多く、**時間内に解答するにはかなりのスピードが要求されます。**ゆえに、演習や模試を通して、この形式の問題に慣れておくことが必要です。

#### ■ 2日間で実施される

##### 1日目：社国英、2日目：理数 心身ともにハードな2日間

以下の表は、今年度の共通テストの時間割です。「地理歴史および公民」「理科②（「基礎」が付かない理科）」の2科目選択者の試験は、解答順に第1解答科目・第2解答科目に区分し、各60分で実



施します。試験時間130分には、第1・第2解答科目間の**答案回収等の時間を10分**を含みます。また、「英語」では、筆記試験とは別の時間帯で実施される「リスニング」が必須となっています。これは各受験者に配られる「ICプレーヤー」を自分で操作して、30分間のテストが実施されます。1月の寒い時期で、時間も長く緊張感もあるため、心身ともにハードな2日間になるので、これに備えるために、早めの鍛錬が必要になります。

#### [ 2021 大学入学共通テストの時間割 ]

試験日	試験教科・科目		試験時間
1日目 1月16日(土)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済(倫政)」	【2科目選択】 9:30～11:40  【1科目選択】 10:40～11:40
		国語	「国語」 13:00～14:20
	外国語	「英語」	①リーディング(筆記) 15:10～16:30 ②リスニング 17:10～18:10
2日目 1月17日(日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」	11:20～12:20
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」	13:40～14:40
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	【2科目選択】 15:30～17:40 【1科目選択】 16:40～17:40

#### ■ 志望大学が指定する教科・科目を受験する

受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになります。**合否判定に用いる共通テストの教科数や指定教科(科目)は大学により異なります。**

国公立大学では、「5教科7科目」以上を受験するのが一般的です。そして、各科目の選択は、**個別学力試験(二次試験)に出願する大学が指定する科目から選択**します。

私立大学の「共通テスト利用方式」では、2～3教科が一般的ですが、大学により異なります。理科については特に注意が必要です。国公立大学の理系学部を志望するなら、「理科②2科目」(本校生は物理+化学または生物+化学)を、文系学部志望なら、「理科①2科目」を受験するのが基本です(本校生は「理科①」の生物基礎+化学基礎で受験)

社会については、東北大などの「難関大」の場合、「公民」の「現代社会」等では受験できないことが多いため、「倫理、政治・経済」(「倫政」)が必要です。



#### ■ 受験する教科は出願時の『事前登録制』

受験教科の「事前登録制」が導入されていて、**出願時に、自分が受験する教科をあらかじめ登録**します。試験当日は登録していない教科は受験できません。特に、「理科」では選択方法(「理科①・②の組合せ」と「受験科目数」)、「地理歴史・公民」では「受験科目数」を登録します。**各大学が受験を要求している教科・科目を受験していない場合、受験資格を失うことになるので要注意です。**

## ■ 理・社の『第1解答科目』に注意

「理科②」や「地理歴史・公民」を1科目しか利用しない大学（「一部の公立大入試」や「私立大のセンター利用方式」など）の中には、これらの教科を2科目受験した場合、高得点の方の科目ではなく、「**第1解答科目（理科②、地理歴史・公民で1科目に受験した科目）**」の得点を利用すると指定している大学があります。ゆえに、**理社の第1解答科目をどれにするのかは、かなり重要な作戦です。**

### Q:「私立大専願」でも共通テストを受験する必要がありますか？

A: 国公立大学だけでなく、**多くの私立大学が、共通テストの得点を合否判定に利用します。**文系学部なら、国語、英語（筆記＋リスニング）、地歴・公民1科目、理系学部なら、数学①②、英語（リーディング＋リスニング）、理科1科目以上が一般的ですが、大学によって異なります。ゆえに**私立大専願の受験生も共通テストを受験するのが一般的です。**

### Q:共通テストの成績は、すぐに確認することができるのですか？

A: 出願時に「**成績開示請求**」をすることは可能です。しかし、成績開示は次の年度になってから行われるので、共通テスト直後に、自分の本当の成績を確認することはできません。**あくまで、受験直後の「自己採点」の結果を信じて、国公立大の二次出願や私大出願をするしかありません。**

### Q:国公立大学の「一般入試」はどのように行われるのですか？

#### ■ 国公立大学の「一般入試」のしくみ

国公立大学の一般入試の可否は、**一次試験的役割を果たす「共通テスト」の得点と、大学別に実施される「個別学力検査（二次試験）」の得点の合計で判定します。**

#### ① 共通テストの結果を基に『二次出願先』を決定

##### 全日程を同時に出願 出願後の変更は一切不可能

国公立大学志望者は、1月の共通テストを受験し、直後に自己採点を行います。その結果を参考にうえて、実際の志望大に願書を提出します（通称「**二次出願**」）。**全日程（前期と後期（中期）日程）を同時に出願し、出願後は一切変更ができません。**これはたいへん重要な決断になりますが、国公立大学の出願期間は、共通テストの約1週間後から約10日間というわずかな時間です。ゆえに、本校では、例年12月の「三者面談」を通して、あらかじめ、出願先の候補を絞り込んでいます。

#### ② 「前期＋後期（中期）」の出願先の組合せがポイント

##### 第1志望は「前期日程」で出願 後期日程に欠席率上昇の傾向あり

「前期日程」の合格者は「後期日程」の受験結果を見る前に、前期日程で合格した大学の入学手続きを行わなければいけません。そのため、**第1志望校は「前期日程」で受験するのが鉄則です。**

ゆえに、前期日程の合格者は後期日程を受験しません。さらに、私立大に合格した段階で受験を取りやめる人も多いので、おのずと**後期日程の欠席率は高くなります。**たとえば、前期日程で不合格であっても、**くじけずに後期日程まで受験を続ければ国公立大合格のチャンスは広がります。**



## 特集2 本校での「英検」の実施結果について

### ■ 英検の秋来る

本校では**3年次第1回までに全生徒2級以上合格**を目指しています。

今年度は新型コロナの影響で、第1回に代わり来月第2回を本校で実施予定で、合計187名が受験します。**英検の可否の要となる語**いは短期間で習得できるものではありません。第2回を受験しない皆さんも、配布された問題集や電子辞書を活用して、1月の第3回全員受験に向けて、この秋から英検学習をスタートさせましょう。この秋をどのように過ごすかが可否をわける！

[過年度本校合格者数] \*2018年度より全員受験開始

年度	学年	準2級合格者	2級合格者
2018年度	1年	141名	3名
	2年		
2019年度	1年	150名	
	2年	43名	69名



### ■ 大学入試における英検利用状況

生涯資格として就職や進学に有益な英検ですが、2020年大学入試では、推薦入試で354大学（47%）、一般入試でも199大学（26%）が利用し、新入試ではその数はさらに増えています。

#### 【どのように利用できるの？】

大学によって利用の仕方は様々ですが、主な利用タイプは以下の3種類。

- 得点換算**：級やスコアに応じて共通テストや個別試験の英語の成績を換算。本番の得点と比較して高い方を合否判定に使ってくれるので、受験生の大きな味方。
- 加 点**：級やスコアに応じて個別試験の得点に段階的に加点。大学によって点数は異なるが、1点の差で合否が決まる一般入試では、最後のこの加点が合否を分けることに。
- 出願資格**：極少数ですが出願資格として英検を利用する大学も。東京海洋大学は準2級を取得していない生徒は出願することができない。なかなか恐ろしい利用方法だ。

#### 【注目の優遇方式】

◎茨城大一工【一般】

〈得点換算〉英検 CSE 2300→100点満点 2150→85点 1980→75点 1800→60点

◎福島大一経済経営【推薦】

〈推薦要件〉英検 CSE 1850以上 ※評定平均4.3以上

#### 【合格しないと意味がないの？】

そんなことはありません！受験者全員の個人成績表に英検 CSE スコアが記載され、4技能ごとの学力到達度を確認することができます。準2級は1728、2級は1980で合格ですが、上記の茨城大や福島大でも**合否にかかわらずスコアを基準に優遇**しています。たとえ**不合格でも最新の個人成績表は必ず保管**しておきましょう。ただし、一次試験に合格しないと3技能 CSE スコアしか記載されないのでは基準をクリアするのは難しくなります。最低でも一次試験は合格したいものです。

#### 【祝準1級合格】

今年度第1回の受験で3年1組の松本尚くんが見事準1級合格を果たしました。合格対象者として「大学中級程度」を設定している準1級。文科省が英語教員の目安としても考えているレベルなので、その難易度はかなりのもの。その分、一度取得してしまえば秋田大、茨城大、国際教養大などで**共通テスト英語を満点換算！**する学部があるなど威力は絶大。後輩の皆さんも2年次までに2級を取得し、3年次第1回で準1級にチャレンジしよう！

